

## グローバル複合戦略ポートフォリオ（G）

第1期（決算日：2021年10月25日）

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「グローバル複合戦略ポートフォリオ（G）」は、2021年10月25日に第1期の決算を行いましたので、ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 当ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信 / 内外 / 資産複合
信託期間	原則として無期限（2020年10月20日設定）
運用方針	当ファンドは、委託会社が開発した計量モデルに基づく市場中立型マルチ戦略により、主として国内外の株価指数先物取引、国債先物取引、通貨先物取引および商品先物取引等を利用しつつ、国内外の公社債等に投資して、株式市場との連動性は低位に維持しながら、長期的に日本円短期金利を上回る投資成果の獲得を目指して運用を行います。また、外貨建資産の一部については、為替ヘッジ比率をコントロールし、対円での為替ヘッジを行う場合があります。
主要投資対象	国内外の金融商品取引所に上場している株価指数先物取引、国債先物取引、通貨先物取引および国内外の商品取引所に上場している商品先物取引等ならびに国内外の公社債等を主要投資対象とします。
組入制限	国内外の上場株価指数先物取引、上場国債先物取引、上場通貨先物取引および上場商品先物取引等の利用はヘッジ目的に限定しません。 国内外の公社債等の投資割合には制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 外国為替予約取引の利用はヘッジ目的に限定します。 1発行者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	原則として、年1回の決算時（毎年10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に収益分配を行います。 ○分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ○分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 ○収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、運用の基本方針に則した運用を行います。 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 株式会社sustenキャピタル・マネジメント

東京都港区虎ノ門一丁目3番1号 東京虎ノ門グローバルスクエア

〔問い合わせ先〕 電話番号 03-6810-7856（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）  
ホームページ <https://susten.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	株式先物比率	債券先物比率	その他先物比率	純資産総額
	(分配落)	分配金 (税引前)	期中騰落率					
(設定日) 2020年10月20日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 180
第1期 2021年10月25日	9,663	0	3.4	74.8	30.5	635.4	13.9	912

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり、基準価額の期中騰落率は分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算しています。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率およびその他先物比率は買建比率 - 売建比率です。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

(注4) 設定日の基準価額は当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	株式先物比率	債券先物比率	その他先物比率
		騰落率				
(設定日) 2020年10月20日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% -
10月末	9,935	0.7	-	1.2	39.2	74.3
11月末	10,015	0.2	58.1	8.1	47.3	99.6
12月末	9,943	0.6	58.2	7.2	198.2	101.0
2021年 1月末	9,991	0.1	58.3	4.4	265.3	101.1
2月末	9,990	0.1	31.8	24.8	276.1	94.8
3月末	10,123	1.2	42.5	30.3	494.0	112.9
4月末	10,300	3.0	67.8	29.6	583.8	92.0
5月末	10,350	3.5	59.8	31.3	511.0	0.1
6月末	10,257	2.6	56.9	39.4	507.1	27.2
7月末	10,285	2.9	51.2	29.3	707.9	66.9
8月末	10,352	3.5	47.0	49.9	534.5	11.5
9月末	9,972	0.3	69.6	24.8	396.0	103.3
(期末) 2021年10月25日	9,663	3.4	74.8	30.5	635.4	13.9

(注1) 基準価額は1万口当たり、分配金(税引前)込みです。騰落率は期首(設定日)比です。

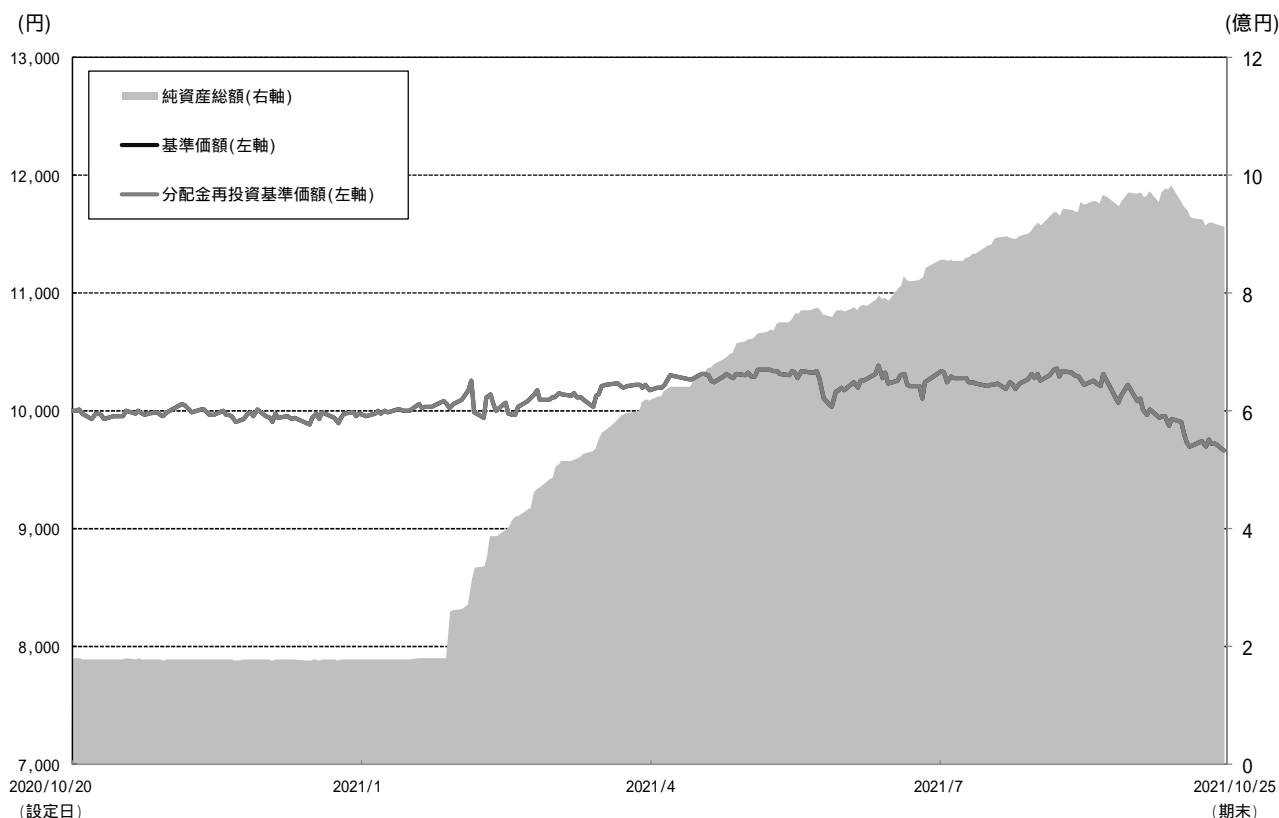
(注2) 株式先物比率、債券先物比率およびその他先物比率は買建比率 - 売建比率です。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

(注4) 設定日の基準価額は当初設定元本です。

運用経過

基準価額等の推移（2020年10月20日～2021年10月25日）



期首（設定日）：	10,000 円
期末	9,663 円
既払分配金（税引前）：	0 円
騰落率	3.4%

- （注1）分配金再投資基準価額および騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- （注2）ファンドの購入価額により課税条件が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注3）当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。
- （注4）基準価額は1万口当たりの価額です。騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

基準価額の主な変動要因

株式、債券、通貨などへの機動的配分を通じてオルタナティブ・リスク・プレミアム（ARP）の獲得を目指すグローバル複合戦略ポートフォリオ（G）は、当期3.4%の下落となりました。戦略別にみると、バリュー戦略が振れを伴いつつも、期を通じて概ね基準価額の押し上げに寄与しました。一方で、2021年8月頃まで当ファンドのパフォーマンスを牽引してきたモメンタム戦略とディフェンシブ戦略が、金利が急激に上昇したことなどを背景に期末にかけて大きく調整し、結果的に全体としてマイナスの着地となりました。

### 投資環境

#### <株式市場>

先進国株式は、米国大統領選挙において民主党候補のバイデン氏が勝利し、不透明感が後退したことや、新型コロナウイルス感染症のワクチン普及への期待などから、大幅に上昇しました。セクター別では、こうした期待などを背景に、株価の回復が相対的に遅れていたエネルギーや素材関連といった景気に敏感なセクターが上昇したほか、長期金利の上昇を背景に金融セクターも上昇しました。特に、米国株式は、バイデン新政権が大規模な景気刺激策を打ち出したことなどによる景気回復期待の高まりから、概ね上昇基調で推移し、史上最高値を更新しました。

新興国株式は、新型コロナウイルス感染症の感染状況の落ち着きや各国の経済正常化への期待の高まりなどを材料に上昇しました。2021年2月中旬から3月にかけては、米国長期金利の上昇を受け投資家の警戒感が高まったことなどから、市場は一旦調整しました。その後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に一段の落ち着きが見られたことなどが支援材料となった一方、米中関係の悪化や中国における一部業種に対する規制強化の動き、中国不動産セクターの動向などが嫌気され、一進一退の動きとなりましたが、期を通じてみると上昇しました。

#### <債券市場>

米国では、期初から期の半ばにかけては、緩和的な金融環境が維持されるとの見方が根強い中、ワクチン普及への期待などに加え、新政権による追加的な財政支出への期待やそれに伴う予想インフレ率の上昇もあり、国債利回りは上昇しました。その後2021年7月にかけては、一部にマクロ経済統計を受けた神経質な動きもみられたものの、総じてみれば、それまでの急速な金利上昇が反転する展開となりました。期末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）で2021年内にテーパリングの開始が決定されるとの観測などから、国債利回りは再び上昇に転じました。

欧州では、米国国債利回りに連れるかたちで、国債利回りが上昇しました。日本では、日本銀行が長短金利操作付き量的・質的金融緩和を続けるもとで、国債利回りは安定的に推移しました。

#### <外国為替市場>

米国長期金利の上昇を背景に、米ドル/円レートは円安・ドル高方向の動きとなりました。

### 当ファンドのポートフォリオ

委託会社が開発した計量モデルに基づく市場中立型マルチ戦略により、主として国内外の株価指数先物取引、国債先物取引および通貨先物取引を利用しつつ、米国の公社債に投資して、株式市場との連動性は低位に維持しながら、長期的に日本円短期金利を上回る投資成果の獲得を目指して運用を行いました。個別の投資対象銘柄等の選定にあたっては、取引コスト、流動性等を総合的に勘案し決定いたしました。また、外貨建資産の一部については、為替ヘッジ比率をコントロールし、対円での為替ヘッジを行いました。

### 当ファンドとベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 分配金について

収益分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を勘案して、以下の通りといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用いたします。

< 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前） >

項 目	当 期
	（2020年10月20日～2021年10月25日）
当期分配金 （対基準価額比率）	- 円 （ - %）
当期の収益	- 円
当期の収益以外	- 円
翌期繰越分配対象額	0 円

（注1）当期分配金の対基準価額比率とは、当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下切捨てで算出しているため、これらを合計した額と当期分配金（税引前）の額が一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

委託会社が開発した計量モデルに基づく市場中立型マルチ戦略により、主として国内外の株価指数先物取引、国債先物取引、通貨先物取引および商品先物取引等を利用しつつ、国内外の公社債等に投資して、株式市場との連動性は低位に維持しながら、長期的に日本円短期金利を上回る投資成果の獲得を目指して運用を行います。個別の投資対象銘柄等の選定にあたっては、取引コスト、流動性等を総合的に勘案し決定いたします。また、外貨建資産の一部については、為替ヘッジ比率をコントロールし、対円で為替ヘッジを行う場合があります。

1万口当たりの費用明細

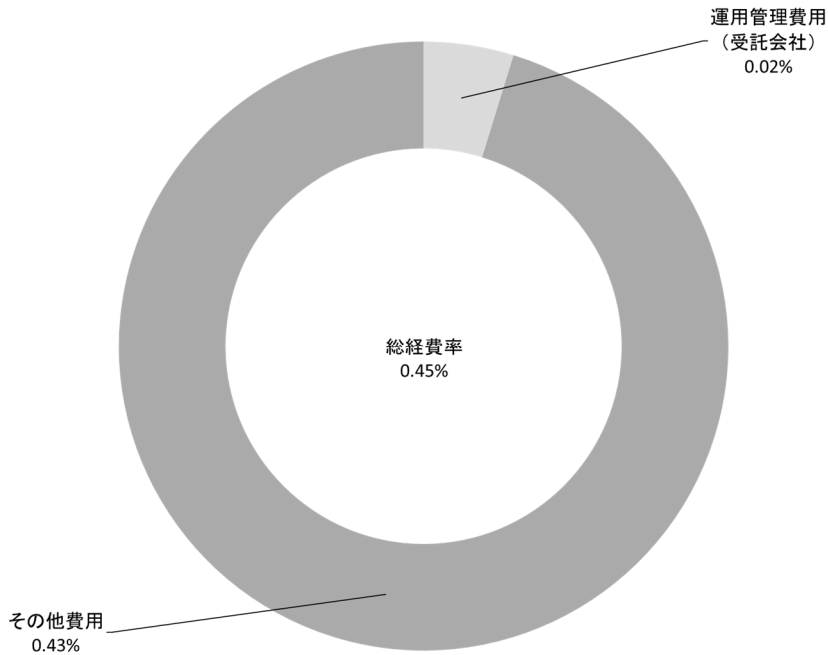
項目	当期		項目の概要
	(2020年10月20日 ～2021年10月25日)		
	金額	比率	
(a)信託報酬	2円	0.022%	(a)信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,114円です。 投信会社：委託した資金の運用等の対価 販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（投信会社）	-	-	
（販売会社）	-	-	
（受託会社）	(2)	(0.022)	
(b)売買委託手数料 （先物・オプション）	34 (34)	0.333 (0.333)	(b)売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税	-	-	(c)有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	44 (1) (18) (26)	0.439 (0.006) (0.176) (0.256)	(d)その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金、資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他：信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	80	0.794	

（注1）各金額（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しており、円未満を四捨五入しています。

（注2）各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点以下第4位を四捨五入しています。

（参考情報） 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.45%です。



- （注1）当ファンドの費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- （注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- （注3）各比率は、年率換算した値で、小数点以下第3位を四捨五入しています。
- （注4）上記の前提条件で算出した参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

（2020年10月20日～2021年10月25日）

公社債

種類		買付額	売付額
外国	米国 国債証券	千米ドル 7,998	千米ドル - (2,000)

- （注1）金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれていません）。  
 （注2）売付の（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれていません。  
 （注3）金額の単位未満は切捨てしています。

派生商品の取引状況等

（2020年10月20日～2021年10月25日）

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
国内	株式	TOPIX 先物	百万円 135	百万円 137	百万円 97	百万円 96	百万円 -	百万円 -	百万円 -
	債券	長期国債先物	2,579	1,975	1,209	1,211	604	-	1
外国	株式	S&P500 EMINI FUT	1,212	1,162	93	96	77	-	1
		S&P/TSE 60 IX FUT	388	335	-	-	70	-	2
		SPI 200 FUTURES	429	329	-	-	109	-	0
		FTSE 100 INDEX FUTURE	280	200	-	-	90	-	2
		CAC40 10 EURO FUT	-	-	567	524	-	53	1
		DAX MINI FUTURE	-	-	386	291	-	102	0
		IBEX 35 FUTURE	-	-	240	217	-	23	0
		DJ EURO STOXX 50	287	183	14	14	110	-	0
	債券	US 5YR NOTE CBT	8,302	8,074	-	-	276	-	0
		US 2YR NOTE CBT	13,254	8,037	-	-	5,335	-	21
		US 10YR NOTE FUT	491	488	7,132	5,203	-	1,956	36
		US LONG BOND CBT	1,100	588	294	293	521	-	13
		CAN 10YR BOND FUT	-	-	2,740	2,458	-	299	2
		AUST 10Y BOND FUT	3,093	2,551	47	47	563	-	25
LONG GILT FUTURE	1,042	1,040	1,088	748	-	349	1		
EURO-BOBL FUTURE	4,457	2,756	119	121	1,722	-	17		
EURO-BUND FUTURE	1,224	1,229	3,799	3,184	-	624	12		



グローバル複合戦略ポートフォリオ（G）

通貨	AUDUSD CURRENCY FUT	23	23	520	439	-	84	1
	BP CURRENCY FUT	524	449	170	171	78	-	0
	C\$ CURRENCY FUT	346	305	16	16	45	-	0
	DOLLAR INDEX	379	338	95	95	42	-	0
	EURO FX CURR FUT	553	505	16	16	49	-	0
	JPN YEN CURR FUT	2,306	2,293	1,434	1,297	-	150	1
	NEW ZEALAND \$ FUT	324	314	93	92	16	-	0
	CHF CURRENCY FUT	-	-	809	691	-	124	1

（注1）外国先物取引の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客直物電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計額です。

（注2）金額は受渡し代金です。単位未満は切捨てしています。

利害関係人との取引状況等

（2020年10月20日～2021年10月25日）

該当事項はありません。

なお、利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第一種および第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2020年10月20日～2021年10月25日）

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況

（2020年10月20日～2021年10月25日）

設定時残高 （元 本）	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 （元 本）	取引の理由
百万円 180	百万円 2	百万円 182	百万円 0	当初設定時における取得 とその処分

組入資産の明細

（2021年10月25日現在）

（1）公社債

A 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区分	額面金額	評価額		組入 比率	うちBB 格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算 金額			5年 以上	2年 以上	2年 未満
米 国	千米ドル 6,000	千米ドル 5,998	千円 682,154	% 74.8	% -	% -	% -	% 74.8
合 計	-	-	682,154	74.8	-	-	-	74.8

（注1）邦貨換算金額は、当期末の時価を日本の対顧客直物電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

（注2）比率は、純資産総額に対する評価額の比率で、小数点以下第2位を四捨五入しています。

（注3）金額の単位未満は切捨てしています。

B 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建 金額	邦貨換算 金額	
（米国）		%	千米ドル	千米ドル	千円	
US T BILL 11/04/21	国債証券	-	4,000	3,999	454,876	2021/11/04
US T BILL 08/11/22	国債証券	-	2,000	1,998	227,277	2022/08/11
合 計			6,000	5,998	682,154	

（注1）邦貨換算金額は、当期末の時価を日本の対顧客直物電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

（注2）金額の単位未満は切捨てしています。

（2）先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		買建額	売建額
国内		百万円	百万円
	長期国債先物 2021年12月	604	-
外国	S&P500 EMINI FUT Dec21	百万円 77	百万円 -
	S&P/TSE 60 IX FUT Dec21	70	-
	SPI 200 FUTURES Dec21	109	-
	FTSE 100 INDEX FUTURE Dec21	90	-
	CAC40 10 EURO FUT Nov21	-	53
	DAX MINI FUTURE Dec21	-	102
	IBEX 35 FUTURE Nov21	-	23
	DJ EURO STOXX 50 Dec21	110	-
	US 5YR NOTE CBT Dec21	276	-
	US 2YR NOTE CBT Dec21	5,335	-
	US 10YR NOTE FUT Dec21	-	1,956
	US LONG BOND CBT Dec21	521	-
	CAN 10YR BOND FUT Dec21	-	299
	AUST 10Y BOND FUT Dec21	563	-
	LONG GILT FUTURE Dec21	-	349
	EURO-BOBL FUTURE Dec21	1,722	-
	EURO-BUND FUTURE Dec21	-	624
	AUDUSD CURRENCY FUT Dec21	-	84
	BP CURRENCY FUT Dec21	78	-
	C\$ CURRENCY FUT Dec21	45	-
	DOLLAR INDEX Dec21	42	-
	EURO FX CURR FUT Dec21	49	-
	JPN YEN CURR FUT Dec21	-	150
NEW ZEALAND \$ FUT Dec21	16	-	
CHF CURRENCY FUT Dec21	-	124	

（注1）外国先物取引の金額は、当期末の時価を日本の対顧客直物電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

（注2）金額の単位未満は切捨てしています。

当ファンドは株式投資信託ですが、期末時点で株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等の組入れはありません。

投資信託財産の構成

（2021年10月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公 社 債	682,154	65.8
コール・ローン等、その他	354,503	34.2
投資信託財産総額	1,036,657	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てしています。

（注2）外貨建資産は、当期末の時価を日本の対顧客直物電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。  
 なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=113.72円、1カナダ・ドル=92.00円、  
 1オーストラリア・ドル=85.01円、1イギリス・ポンド=156.62円、1ユーロ=132.47円  
 です。

（注3）当期末における外貨建資産（874,946千円）の投資信託財産総額（1,036,657千円）に対する  
 比率は84.4%です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況並びに損益の状況

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年10月25日現在）

損益の状況

（2020年10月20日  
 ~2021年10月25日）

項目	当期末
(A) 資産	1,936,687,631 円
コール・ローン等	80,958,157
公社債（評価額）	682,154,393
未収入金	966,913,440
差入委託証拠金	206,661,641
(B) 負債	1,024,605,588
未払金	1,023,376,456
未払解約金	662,176
未払信託報酬	93,956
その他未払費用	473,000
(C) 純資産総額（A-B）	912,082,043
元本	943,919,329
次期繰越損益金	31,837,286
(D) 受益権総口数	943,919,329 口
1万口当り基準価額	9,663 円
(C/D)	

項目	当 期
(A) 配当等収益	3,925 円
受取配当金	64,177
支払利息	68,102
(B) 有価証券売買損益	6,036,725
売買益	54,690,270
売買損	48,653,545
(C) 先物取引等損益	50,017,050
取引益	295,034,897
取引損	345,051,947
(D) 信託報酬等	2,519,714
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	46,503,964
(F) 追加信託差損益金	14,666,678
（配当等相当額）	(20,832)
（売買損益相当額）	(14,645,846)
(G) 合計（E+F）	31,837,286
次期繰越損益金（G）	31,837,286
追加信託差損益金	14,666,678
（配当等相当額）	(20,832)
（売買損益相当額）	(14,645,846)
繰越損益金	46,503,964

## グローバル複合戦略ポートフォリオ（G）

（注） 設定時元本額	180,000,000 円
期中追加設定元本額	1,225,936,134 円
期中一部解約元本額	462,016,805 円

- （注1）有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含まず。
- （注2）信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- （注3）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- （注4）分配金の計算過程

（a）経費控除後の配当等収益	0 円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0 円
（c）収益調整金	20,832 円
（d）分配準備積立金	0 円
（e）当期分配対象額 （a+b+c+d）	20,832 円
（f）1 万口当たり当期分配対象額	0.22 円
（g）分配金	0 円
（h）1 万口当たり分配金	0 円

## お知らせ

投資対象とする資産に、商品投資等取引（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条第10号に規定するものをいいます。）に係る権利を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

（適用日：2021年10月1日）